



東京23区が
見える。
わかる。

ワンツースリー

One23

Vol.27



公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

23区の**新旧**スポット

- クマなくさんぽ…生誕地に開館!! すみだ北斎美術館
- とくべつクマ特別調査 ワン ツー スリー 23区の1・2・3
…行って学ぼう! 楽しもう! 「博物館」・「博物館類似施設」の数ランキング
- 所蔵資料蔵出し…戦後地方自治の必読書「地方自治読本」
- これ、なんの数字?? … 32,551台
- 「ぐんまの山村フェアin東京」を開催しました



23

Question

「博物館」・
「博物館類似施設」の
数が一番多い区は
どこでしょう?

答えは中面に!



とくべつクマ®

23区の 新旧 スポット

東中野駅西口駅前広場整備



都市計画決定から、長い年月をかけて駅前広場や駅ビル等が整備され、交通利便性や都市景観が向上しました。

所 中野区東中野1,4丁目
問 都市計画分野 03-3228-8262



今も昔も交通の要所 宮地交差点(かつてはロータリー)



昔、大きなロータリーがあり、多くの車で渋滞が起きていました。それを解消するため、宮地陸橋が誕生しました。

所 荒川区荒川4丁目8付近
問 広報課 03-3802-3111(内線2138)



都電の廃線跡が、憩いの緑道公園に



昭和47(1972)年11月に都電が廃止され、大島緑道公園が整備されました。

所 江東区大島4丁目付近
問 広報広聴課 03-3647-2299



~イルミ・グルメ・イベント盛りだくさん!~ 夜があなたを輝かせる。「東京シティ競馬」



トゥインクルレースは今年で30周年。さまざまなイベントと白熱するレースで、今や人気デートスポットとして定着してきています。

所 品川区勝島2-1-2
問 特別区競馬組合 03-3763-2151



区民とともに計画策定した 「芝浦公園」と「みなとパーク芝浦」



江戸末期まで海が広がっていたこの地は、明治3(1870)年からの鉄道工事を機に埋立が進みました。東京瓦斯(現東京ガス)芝浦製作所の大きなガスタンクがランドマークでした。

所 港区芝浦1-16-1
問 芝浦港南区地総合支所 管理課 03-6400-0036



新たなランドマークが 続々登場!



市街地再開発事業により、2棟の高層ビルが登場。中目黒駅前の様子は大きく変貌しました。

所 目黒区上目黒1,2丁目
問 都市整備部地区整備事業課 03-5722-9673



小田急線の地上部に 「代田富士356(ミゴロ)広場」を整備!



連続立体交差事業等により地下化された小田急線の地上部に、区民参加で検討した広場を整備しました。管理運営も区民参加で進めています。

所 世田谷区代田3-56-18
問 北沢総合支所街づくり課 03-5478-8031



五街道の起点「日本橋」と都電 ~都電の架線柱も兼ねていた「道路元標」~



都電廃止に伴い、橋中央にあった「東京市道路元標」は移設され、現在の「日本国道路元標」が埋設されました。

所 中央区日本橋室町1丁目付近
問 広報課 03-3546-5216



小学校跡地に マンション一体型区役所が出現!



小学校跡地と民間の敷地が再開発事業により、豊島区役所として生まれ変わり、平成27年5月にオープンしました。

所 豊島区南池袋2-45-1
問 広報課 03-4566-2533



墨田区北部の広域拠点 曳舟駅周辺の再開発



区北部の広域拠点と位置づけられた曳舟駅周辺は、再開発により、さらに安心で魅力的なまちになりました。

所 墨田区京島1丁目
問 拠点整備課 03-5608-6262



「塩の道」から桜の名所へ 新川千本桜



かつて塩を運ぶ水路であった新川は、耐震護岸整備と桜の植樹により、春には両岸に桜が咲き誇る美しい景観へと生まれ変わりました。

所 江戸川区船堀周辺
問 広報課編集係 03-5662-0403



おもちゃ工場跡地が生まれ変わり! 「モンチッチ公園」誕生



株式会社セキグチ本社跡にあった工場跡地が新しく生まれ変わり、地域で愛されるモンチッチ公園(愛称)になりました。

所 葛飾区西新小岩5-2-4, 5-7-7
問 公園課管理運営係 03-3693-1777



50年前の渋谷駅周辺の開発 と現在の開発



東急東横線の駅舎がありましたが、今回の開発で新たに駅ビルが建設されます。

所 渋谷区渋谷2丁目
問 広報コミュニケーション課 03-3463-1287



立体交差化で生まれ変わった 石神井公園駅



新駅舎のデザインは、区内の小中高生を対象としたデザインアイデア画コンテストの結果等を基に作られました。

所 練馬区石神井町3-23-10
問 計画課計画係 03-5984-2073



飛鳥山の前を走る都電



変化してますか!? 今も昔もレトロな情緒を感じさせてくれています。

所 北区王子1-1-3周辺
問 広報課 03-3908-1102



秋葉原の顔 (万世橋交差点)



常に変化し続ける街、秋葉原。総武線の高架橋だけは昭和から変わりません。

所 千代田区外神田1丁目 万世橋交差点付近
問 広報広聴課 03-5211-4172



国道・春日通りの拡幅と 本郷三丁目交差点の、今むかし



江戸時代の川柳で「本郷もかねやすまでは江戸の内」と歌われるなど、当時から賑わいを見せていました。

所 文京区本郷3丁目交差点付近
問 広報課 03-5803-1128



都内最大級の観光案内所 「浅草文化観光センター」



国内外から来訪する観光客の皆様のさまざまなニーズに応えるため、平成24年リニューアルオープン。

所 台東区雷門2-18-9
問 浅草文化観光センター 03-3842-5566



大田区のスポーツを支えつづける 「大田区総合体育館」



設備がさらに拡張され、プロスポーツや成人式等の会場として今も親しまれています。

所 大田区東蒲田1-11-1
問 大田区総合体育館 03-5480-6688



新たな賑わいスポットへ 歌舞伎町シネシティ広場がリニューアル



平成28年4月に、さまざまなイベントやオープンカフェが開催できる広場に生まれ変わりました。

所 新宿区歌舞伎町1-19
問 区政情報課広報係 03-5273-4064



工場跡地が水と緑のまちへ! 「新田地区のまちづくり」



荒川と隅田川に隣接した工場跡地に、公園やマンション群などを整備。若い世代にも人気の地区です。

所 足立区新田3丁目地内
問 まちづくり課 03-3880-5441



60年の時が育てた 「高円寺阿波おどり」



商店街のイベントとして始まった阿波踊り。歴史を重ね、東京の夏の風物詩となりました。

所 JR[高円寺]駅、東京メトロ丸ノ内線[新高円寺]駅
周辺商店街および高円通り
問 総務部広報課 03-3312-2111(内線1502)



ユニバーサルデザインで新たな 時代の公園へ「西徳第三公園」



高低差のある公園を結ぶスロープや崖線樹林地の再整備で、すべての人が楽しめる場に生まれ変わりました。

所 板橋区西台3-42-1
問 みどり公園課 03-3579-2525



普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

クマなく さんぽ

墨田区



世界的な芸術家、葛飾北斎の美術館

生誕地に開館!!

すみだ北斎美術館

幻の絵巻など約1,500件の北斎一門の作品を収蔵

墨田区の新たな観光の核となる「すみだ北斎美術館」が平成28年11月22日に開館しました。

世界的な芸術家として評価の高い「葛飾北斎」(1760~1849年)は、本所割下水(現在の北斎通り)付近に生まれ、およそ90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしながら、優れた作品を数多く残しました。

作品の中には两国橋や三囲神社など、当時の区内の景色を描いたものが数多くあります。特に、開館に際して公開された「隅田川兩岸景色図巻」は海外に流失し、100年余り行方がわからなかった幻の絵巻で、北斎壮年期の傑作の一つとされています。こうした貴重な収蔵品は、現在約1,500件にのぼります。



富嶽三十六景 凱風快晴 (提供:すみだ北斎美術館)



美術館外観 (写真提供:すみだ北斎美術館)



美術館内観

斬新な外観デザイン

斬新なデザインの建物は、建築界のノーベル賞ともいわれるプリツカー賞を受賞した妹島和世氏による設計。アルミパネルで覆われた外壁は下町の風景を映し込み、周辺に溶け込むように考えられています。建物全体はスリットにより分割され、隣接する公園や道路のどの方面からも入館できる、開放的な構造になっています。北斎の作風と共通する独創性は美術館の建物にも生かされているようです。

見て、触れて、体感しながら北斎を学ぶ

展示は、「企画展」と「常設展」があります。企画展では、調査研究に基づいた多彩なテーマで北斎作品などを紹介し、常設展では、北斎とすみだの関わりや生誕から晩年までの北斎の生涯に沿って、年代ごとの代表作を紹介しています。また常設展示室には、タッチパネル式情報装置を設置し、北斎の作品に親しみながら、見て・触れて・体感できる、いわば博物館的な要素も取り入れたコーナーも充実しています。



北斎ゆかりの地を紹介するインタラクティブマップ

ここもおすすめ
スポット

「旧安田庭園」



かつて隅田川の水を引いて潮入りとした庭園は、元禄時代に築造された回遊式庭園。日本式庭園の素晴らしさを堪能できる、憩いの公園です。

所在地 墨田区横網1-12-1
(最寄駅 都営大江戸線 両国駅A1 徒歩7分
JR総武線 両国駅西口 徒歩5分)

「すみだ北斎美術館」案内

- 所在地** 墨田区亀沢2-7-2
(最寄駅 都営大江戸線 両国駅A3出口 徒歩5分
JR総武線 両国駅東口 徒歩9分)
- 電話** 03-5777-8600(ハローダイヤル)
- 開館時間** 午前9時30分~午後5時30分
(入館は閉館の30分前まで)
- 休館日** 毎週月曜日(ただし、祝日・振替休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、年末年始
- 常設展観覧料** 一般 400円、大高生 300円、65歳以上 300円
※団体割引あり
- 企画展観覧料** 企画展ごとに設定

もっと活用しよう!

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは?

特別区(東京23区)を中心とする自治に関する資料を収集しており、蔵書数は約8.5万冊。特別区や行政について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

こんなことをしたよ



今年も
開催しました!

ぐんまの山村フェアin東京

平成28年10月12日(水)、東京区政会館の公開空地にて特別区と群馬県市町村との都市交流事業の一環として「ぐんまの山村フェアin東京」を開催しました。当日は天候に恵まれ、多数の方にご来場いただき、群馬県山村地域の魅力を紹介することができました。

今年で5回目の開催となったフェアでは、群馬県9市町村とアンテナショップ「ぐんまちゃん家」が特産品・農産品を販売し、各販売コーナーは多くのお客さんで賑わいました。また、木工体験コーナーでは、群馬県の木材を使用したオリジナルの箸やマドラーを、皆さん熱心に製作していました。

毎年恒例となった群馬県のキャラクター「ぐんまちゃん」をはじめとした県内市町村のキャラクターも登場し、会場を盛り上げてくれました。



当日登場したキャラクターたち



会場の様子



木工体験コーナー

出展団体

- ◆桐生市 ◆沼田市
- ◆上野村 ◆下仁田町
- ◆南牧村 ◆中之条町
- ◆嬭恋村 ◆片品村
- ◆みなかみ町
- ◆アンテナショップ「ぐんまちゃん家」



こんなものがあるよ



特別区に関する資料から読み解いてみよう!

所蔵資料
蔵出し

戦後地方自治の必読書 「地方自治読本」

今回は、昭和29(1954)年に発行された「地方自治読本」を紹介します。本書は、総理府自治庁から「地方自治の必読書」と銘打って発行されたものです。当時、自治庁は地方自治制度の企画等を担当していました。

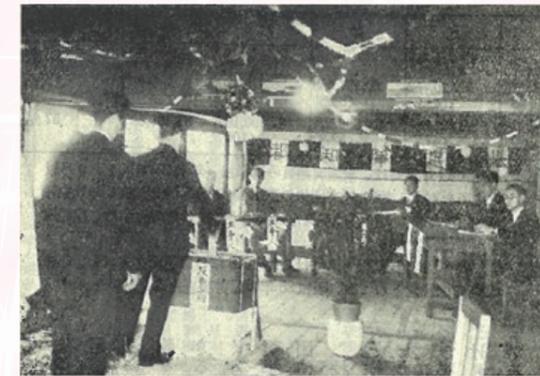
本書発行の昭和29(1954)年当時は、戦後の民主化改革から早期経済復興へと政策転換がなされた時代でした。しかし、書中には「国民に近い一般行政では、地方行政こそ肝要である。(略)地方行政に関する限り、民主主義と地方自治とは、同意語である。しかも、地方自治で教育訓練を受けてこそ、中央の政治行政における民主主義もまた完成するのである。」(本書119頁より引用)という記載があります。この文章から、地方自治の発展による民主化を進めようとする、自治庁の意思がうかがわれます。

本書の内容は、「地方自治とは何か」という概念の解説から始まり、「制度のしくみ」、「行政・財政」といった制度的説明や法律等の解説が掲載されています。

さらには、地方自治の運営などに関して、国民生活と関連付け、一般向けの書籍のように作成されている点が特徴です。投票場や役所窓口の様子等、住民に比較的身近な事柄が①・②のような写真とともに掲載されています。

特別区(東京23区)についての記述を探してみると、③にあるように、「都の内部組織」という記述が見られます。当時、早期経済復興への政策転換の影響を受け、特別区は東京都の内部団体という位置づけになっていました。具体的には、住民が区長を選挙で選ぶ「区長公選制」が廃止される等、特別区にとっては自治権が後退したといえる時期でした。

その後、特別区は約半世紀もの長い年月に及ぶ自治権拡充運動を経て、他の市町村と同じ「基礎的自治体」として位置づけられ、現在に至ります。



① 投票場風景



② 役所の窓口風景

特別市と特別区 特別市は、人口五〇万以上の市で法律で定められたものをいうのであって、特定の都市が法律によって特別市に指定された場合には、その都市は府県の区域からはずされ、府県と市の権能をあわせ持つこととなる。いまのところ、特別市の指定を受けた都市はないが、京都市(一、二〇一、八五四人)、大阪市(一、九五六、一三六八)、横浜市(九五二、二八九九)、神戸市(七六五、四三五五)、名古屋市(一、〇三〇、六三三〇)のいわゆる五大市は、みな特別市の指定を受けられる大都市であって(注九、これらの都市を特別市に指定することの是非は、よく特別市問題として論議されることである。)、一方では、都と一体のような経営のために必要な規制を受ける都の内部組織としての性格のあるものである。

③ 特別区の記述

これ、なんの数字??

特別区に関するトピックを数字から読み解いてみよう!

32,551台

この数字は、駅前放置自転車等の現状と対策(平成27年度調査)における特別区の区域内の駅前放置自転車数です。同年の乗入台数に占める放置台数(放置率)は8.0%でした。今回は、この放置台数等の推移を基に特別区の放置自転車対策等を紹介します。

左の表によると、この25年間で放置台数は約6分の1に減少、放置率も35ポイント以上改善しました。各駅における収容能力の向上が数値の改善に寄与していると考えられます。

特別区においては、昭和50年代後半から駐輪場の整備や放置自転車の撤去等を定めた条例が制定され、直近10年においても駐輪場建設、改修等に充てられる投資的経費の予算額が特別区全体で約2倍に拡充されるなどの取組がなされています。その結果、区別の収容能力は、21区で乗入台数を上回っており、今後の放置自転車の減少には利用者のさらなるマナー向上が求められるのではないのでしょうか。

特別区における 駅前放置自転車数、乗入台数、放置率の推移

調査実施年	放置台数	乗入台数	収容能力	放置率(%)
平成2(1990)年	180,101	411,937		43.7
平成12(2000)年	170,157	442,782		38.4
平成17(2005)年	94,495	431,540		21.9
平成22(2010)年	40,294	366,127	505,738	11.0
平成27(2015)年	32,551	408,717	540,773	8.0

※注:放置自転車数、乗入台数には、自転車、原付、自動二輪車を含む。
出典:特別区統計情報システムより算出



とくべつクマ特別調査

23区の

ワン ツー スリー
1・2・3

東京23区内には、
色々な博物館があるね。
一番多い区はどこだろう。



行って学ぼう! 楽しもう!

23区の「博物館」・「博物館類似施設」 の数ランキング

※1 **1位** 世田谷区 / 世田谷美術館など6館
※2 **2位** 台東区・杉並区 / 4館

※1 文部科学省が行う「社会教育調査」上、博物館と同種の事業を行い、博物館法第29条に規定する博物館に相当する施設(博物館相当施設)と同程度の規模を持つとされる施設
※2 博物館法に基づき、東京都教育委員会に登録されている施設数。なお、博物館には博物館相当施設を含む。
(出典) 東京都生涯学習情報ホームページ「施設関連情報」 施設種別「博物館」及び「博物館類似施設」(平成28年3月版)

ランキングトップは世田谷区。「世田谷美術館」は国内外の幅広い分野のアート作品の紹介やイベント等を通じて、多くの人々に親しまれている美術館です。今回は「世田谷美術館」を訪問し、世田谷美術館学芸部広報担当の村上由美さんからその魅力を伺ってきました。

区民との交流を深めて30周年

世田谷美術館は昭和61(1986)年3月に都立砧公園内に開館しました。以来、緑豊かな公園とともに、気軽に立ち寄り、展覧会だけでなく、ライブラリー、レストランなどゆっくりと時間を過ごせる施設として、区民にとどまらず多くの方が訪れています。

ミュージアムコレクション展では、1万6千点を超える収蔵作品の一部を紹介するとともに、企画展では毎回、様々なジャンル・時代的美術・芸術に親しんでいただける構成を心掛けているそうです。

また、区民との交流は、美術館への作品寄贈というかたちでもあらわれています。その作品数も年々増え続け、中には日本近代絵画の代表的な作品もあり、世田谷ゆかりのコレクションの一層の充実が図れることになります。

世田谷美術館になくてはならないボランティア

世田谷美術館では、開館当初から世田谷区立小学校の4年生を対象に美術鑑賞教室を開催しています。当初は教員が児童を引率して作品を鑑賞していましたが、平成9(1997)年からは、ボランティアが児童たちの鑑賞サポートの活動を始めました。児童5~8人にボランティアが付き添い、展覧会を見て回り、質問に答えたり、館内を案内したりします。

また、企画展開催中は美術館とボランティアの方々と一緒に企画する〈100円ワークショップ〉(手軽な工作のプログラム)を開催しています。作品を鑑賞するだけでなく、美術を体験できると大変好評を得ています。こうしたボランティアの方々には世田谷区内・外から集まり、登録者数は現在400人を超えているそうです。



世田谷美術館外観

(写真提供:
世田谷美術館)



世田谷美術館内観



「子どもたちの感想は新鮮」とボランティアの方々

ここ
おすすめ
スポット

●美術館併設のレストラン 「LE JARDIN(ル・ジャルダン)」



美術館に併設された本格的なフランス料理店。全面ガラス張り、都立砧公園の四季折々の景色を眺めながら、ゆっくりと食事を楽しむことができます。

所在地:世田谷区砧公園1-2
電話:03-3415-6415

「世田谷美術館」案内

所在地 世田谷区砧公園1-2
電話 03-3415-6011
開館時間 午前10時~午後6時
(展覧会入場は閉館の30分前まで)
休館日 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館) 年末年始(12月29日~1月3日)
コレクション観覧料 一般 200円、大高生 150円、65歳以上 100円、中小生 100円 ※その他、割引あり
企画展観覧料 展覧会によって設定



特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。
※講座や企画の詳細は(公財)特別区協議会ホームページ(HP)をご覧ください。

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間 平日:9:00~20:30 土曜日:9:00~17:00 日曜日・祝日:休館

(公財)特別区協議会 HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/>



特別区全国連携プロジェクト賛同自治体PR展示

東京23区から 全国市町村から
日本を元気に!
特別区全国連携プロジェクト
~行ってみよう あのまちへ~

なめりかわし まっかりむら なばりし
第1部:滑川市・真狩村・名張市

あこうし つし なかしべつちょう しかまち
第2部:赤穂市・津市・中標津町・志賀町

【第1部】

共催 出展市町村(富山県滑川市・北海道真狩村・三重県名張市),特別区,特別区長会,
(公財)特別区協議会

展示期間 平成29年1月6日(金)~1月30日(月)(予定)

【第2部】

共催 出展市町村(兵庫県赤穂市・三重県津市・北海道中標津町・石川県志賀町),特別区,
特別区長会,(公財)特別区協議会

展示期間 平成29年2月1日(水)~2月23日(木)(予定)

※「特別区全国連携プロジェクト」は、東京を含む全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、特別区(東京23区)と全国の市町村が連携・交流事業を行う取組です(平成28年12月5日現在203自治体登録)。

特別区自治情報・交流センター(4階) 休館のお知らせ

蔵書点検のため、休館します。

なお、年始は平成29年1月4日(水)から開館します。

休館期間 平成29年1月16日(月)~
1月21日(土)
問合せ先 03-5210-9051



編集後記

今号で紹介しました「23区の新旧スポット」。再開発を経て、新たな街並みに次々と生まれ変わっていますが、以前と変わらない風景も意外にあるのど感じました。都内の新しいスポットを訪れるのも楽しみです。何十年も前から変わらない風景を探してまち歩きをするのも、新たな発見があるかもしれませんね。今号を携えて、皆さんも出掛けてみてはいかがでしょうか。(永)



特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
開館時間:(4階)9:30~20:30(土曜日は9:30~17:00)
休館日:日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>



東京メトロ 東西線「飯田橋駅」A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線・南北線「飯田橋駅」A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線「飯田橋駅」A2出口徒歩2分
JR 中央線・総武線「飯田橋駅」東口徒歩5分